

レーザー学会産業賞「優秀賞」受賞



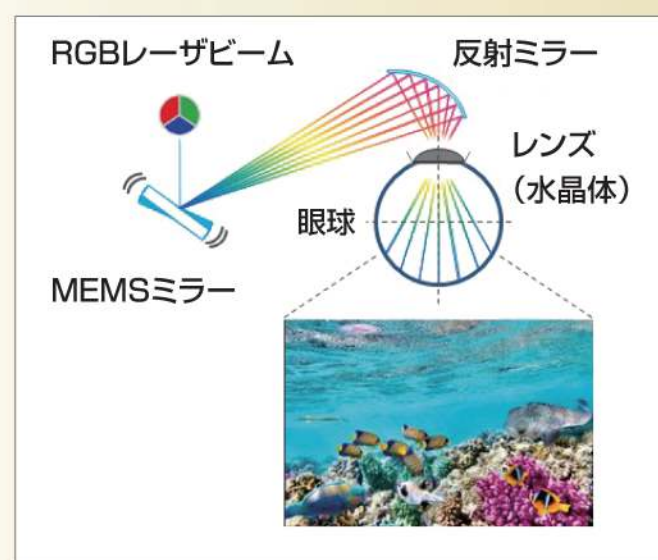
網膜投影レーザーアイウェアの 世界初の製品化



株式会社QDレーザー



RETISSA® DISPLAY II



フレームに内蔵した小型レーザープロジェクターで網膜に直接映像を映し出す。

製品の特長

● 網膜投影はフリーフォーカス

装着者の結像機能やピント位置に影響を受けず、近視・乱視・遠視・老眼であっても視野に自然に重なる鮮やかなフルカラー映像を表示することができる。

● 医療機器RETISSA®メディカル

日本と欧州の治験で視覚支援効果と安全性を立証し、2020年に国内で医療機器製造販売承認を取得した。

● 違和感のない外見

低出力RGB半導体レーザーモジュールとMEMSを用い、3色のビームを束ねてコリメートして瞳孔に収束させ、網膜に高精細な画像を結像させている（上図）。プロジェクタ部を超小型化しメガネフレームの内側に配置することで、違和感のない外見のアイウェアを実現した。

● 高齢化社会の課題に対応

この技術を視覚障害者の支援と眼疾患の検査と治療に適用することによって、視覚障害の急増という高齢化社会の課題に対処し、医療検査機器・医療サービスなどへ展開する。



「見える」をあきらめない。人類の視覚の拡張と再定義へ。